

私たちクリエイティブデザイン科は、札幌中央区土木部維持管理課様からのご依頼で、冬の砂まき PR ポスターデザインプロジェクトに取り組みました。

★この企業プロジェクトは、路面凍結による転倒事故を防止するために設置している砂箱の利用促進を図るもので、砂まき PR ポスターを制作し、広く砂まきの協力を呼びかける事を目的としたものです。

★まずは札幌市の道路事情について話します。

こちらは札幌市消防局から引用したグラフです。こちらのグラフは冬道の自己転倒による救急搬送者数の年間の年齢層別の統計です。★見ての通り 60 - 70 代の方が多いのですが、

★次のこちらのグラフは、人口一人当たりの年齢層別救急搬送者数を表し、★80 歳以上の方が多く、路面凍結による高齢者の事故は深刻な状況にあります。

★札幌開発建設部の砂まきに関する web アンケートによりますと、砂をまいたことがある人は★17%と少なく、砂をまいたことがない理由として、

★他の人がまいているのを見たことがない、という理由が 40%、自分だけまくのが恥ずかしい、という理由が 32%、砂箱の砂を自由に使っていいことを知らなかった、という理由が 17%という結果でした。このように砂をまいたことがない人が多く、砂箱の砂を自由に使っていいことを知らなかった、というのもあります。

私は、砂箱の砂を自由に使っても良いということを大人から子どもまで、全ての年代の人達に知ってもらおうと考え、作品を作りました。

★私が手がけた作品はこちらです。コンセプトは安心して歩ける道を作る。

もう一つは誰にでも伝わるというコンセプトをもとに作りました。

★制作過程はこのようになっています。まず最初にコンセプトをもとに★デザインのラフを 2 個書きました。私は大人だけではなく、小さいお子さんにも見てほしいと思ったので、可愛いデザインで作りました。

担当の先生と相談した結果、★今回は構図が良いと言われた、こちらのデザインを使うことにしました。

★次に、先ほどのラフをもとに下書きを書きました。下書きでは人物を大きめに描き、何をしているのか、わかりやすくしました。

★そして、線画を書いていきます。線画の時点で私は、人物たちを目立たせたいので、背景はあえて線画を書きませんでした。

★次に彩色です。私は人物に暖色系の色を使い背景と同化しないようにしました。背景は人物を目立たせるために、電柱などを除き、街並みの影を後ろに描き、★空の雲を弧を描（えが）くように書くことで、後ろの奥行き感を出しました。そして、人物の直線状に砂箱を描き、子供から砂箱まで視線移動するように書きました。

★最後に、レイアウトをして字体を決め、全体のバランスを見ながら文字を配置し、作品全体の修正をしたら完成です。

★今年は他校からの応募も含め 13 作品が集まりました。

★最終結果では嬉しいことに、私の作品が最優秀賞に選ばれました。選ばれたという報告をもらった時は、最初は実感がわきませんでした。徐々に実感してくにつれ、嬉しく思いました。

★私が今回のプロジェクトを通して学んだことは★「見てもらうことの意識」と「一枚で伝える難しさ」です。どうしたら、いろんな人に見てもらえるか、そして、どうやったら一枚のポスターから意味と思いをくみ取ってもらえるような作品を作れるかということ学びました。

★私は春から、インテリアデザイン関係の仕事に就職することが決まっております。この経験を糧に、これからも誰かに喜びを与えられるような作品を作り続けたいと思います。最後に、私の作品を評価して頂いたことに深く感謝を申し上げます。以上で私のプレゼンテーションを終了します。

★ご静聴ありがとうございました。